

情報公開について

インフォームド・コンセントを受けない場合において、下記のとおり情報を公開します。

(研究課題名)

唾液中の C-reactive protein 濃度と全身の健康状態の関連性の検討

(実施期間)

研究承認から、倫理審査承認後から令和 12 年 3 月 31 日

(意義・目的)

C-reactive protein (CRP) は、炎症や組織損傷時に肝臓で産生される急性期反応タンパク質であり、臨床において炎症の有無や程度を評価する指標として広く利用されています。従来、CRP の測定には採血が必要となります、高齢者では血管の脆弱性や基礎疾患の有無により採血が困難な場合が少なくありません。そこで、より簡便で低侵襲な測定方法の確立が期待されています。このような背景から、唾液を用いた CRP の評価が注目されていますが、その有用性は十分に検討されていません。そこで本研究では、唾液中の CRP 濃度を測定し、その濃度と全身の健康状態の関連性を調べることにしました。

(研究方法)

2008 年～2010 年の間に、『研究課題：長寿と口腔機能調査 -お口からながいき-(許可番号：2003-20)』により採取された唾液内の CRP 濃度を ELISA 法にて測定します。その濃度と、全身の健康状態との関連性を解析し、唾液より評価された CRP の有用性を検討します。

(問い合わせ窓口)

日本大学歯学部 歯科補綴学第I講座 西尾健介、飯沼利光
連絡先 電話 03-3219-8143

本研究に御賛同いただけない方は、上記まで御連絡ください。